

専攻科だより

— 生産1期生 就職試験 体験談 —

専攻科長 中 哲夫

生産システム工学専攻主任 葛目 幸一

海上輸送システム工学専攻主任 高岡 俊輔

本校に専攻科が誕生し早一年が経ち、生産システム工学専攻第一期生も進路選択の時期を迎えました。平成17年度入学8名の学生のうち、4名が就職希望で4名が国立大学院進学予定です。6月初旬には、就職希望者全員が早々と内定しました。本号では、専攻科生産システム工学専攻一期生の就職活動体験記を紹介します。

生産システム工学専攻2年 森本 猛

私は就職に際し、まずは自分のしたい事を整理し、それが実際の社会ではどのような仕事に結びつくのかを考えました。

私は現在、特別研究で、システム制御のための回路設計に取り組んでいます。一枚のボード上に様々な動作を持つ回路を組み合わせ、一つのシステムを完成させる。このような開発業務に魅力を感じ、「将来、仕事として自分の設計した回路で何かを動かしてみたい」と考えるようになりました。

自分のしたい事がまとまった後は、それに向けて自ら行動しなければ何も始まりません。「ものづくり」のどのような現場で、回路による制御が使われているのかを調べるうち、トヨタテクニカルディベロップメント(株)にたどり着きました。この会社はトヨタ自動車株式会社の全面的なバックアップのもと、車両開発全般を行っており、[トヨタの子会社ではなく肩を並べて歩くポジションに]という理念をもっており、非常に向上心の高い企業ではないかと考えました。早速、会社説明会やセミナーに参加し、先輩社員の方々の話を聞いてみると、思ったとおり社員の方一人一人の仕事に対する意識の高さを感じることができ、「この会社で仕事したい」という思いが固まりました。

就職試験に向けては、自分が会社で何をしたいのか、自分はどういう人間であるのかというポイントに重点を絞り、考えをまとめ、面接に臨みました。私が就職試験でもっとも大切であると考えたことは、自分の考えをいかに相手に伝えることができるか、という点です。そのためには自分の考えをまとめ、アピールするコミュニケーション能力が必要不可欠になってきます。私は本科生時代、自分がコミュニケーション能力に長けていると感じたことはありませんでした。しかし専攻科に入ってから学会発表などをこなすうち、人前で自分の考えをアピールすることに対して自信を持つことができるようになりました。

現在は、何がしたいのか考えがまとまっていなかった本科生時代と比べて、専攻科での生活が自分にプラスになっていると考えています。就職試験は自分の考えをまとめる良い機会であり、その期間を専攻科という2年間に託してみるのも一つの選択肢ではないでしょうか。

生産システム工学専攻 2年 峯松 順子

私が就職活動を始めたのはちょうど年明けくらいからです。し

かし何をやっていいのかわからず就職サイトで色々な企業を調べ、良いと思った何社かにエントリーしました。エントリーした1社に女性技術職を対象とした説明会があることを知り参加しました。その説明会で、私は周りの学生や大学院生の人たちの熱意に圧倒され、自分の就職に対する考えの甘さを痛感しました。そして先生と相談し、考えた末にKYB(株)を受験することになりました。履歴書を書いたり面接対策をしていると、なかなか自分が思っていることを言葉に表現できずとても苦勞し、不安を抱いたまま試験に臨みました。試験は適性検査、作文、面接で、面接は面接官の方が緊張をほぐしてくれたおかげで自分の伝えたいことを表現することができました。数日後、内定の知らせをいただきました。就職活動を通して、自分のことについて改めて知ることができ、とてもよい経験となりました。

生産システム工学専攻2年 後藤 誠司

私は就職活動に際し、専攻科卒業生を高く評価してくれる企業への就職を目標にしました。専攻科は、大学と比べ「実践的な能力」が売りですので、その特徴を発揮できる職場で仕事したいと思ったからです。今回内定をいただいた旭化成もそれらの企業の一つでした。私が専攻科で身につけたことは、研究活動等を通じて得られた洞察力や問題発見・解決能力などです。面接に際し、自分を企業にどのように売るか苦悩しましたが、体験を通じて得られたこれらの能力を企業にアピールすることになりました。運良く、企業の方もそのような能力を持った人材を求めています。

そして、いままです積み上げたものを面接ですべて出しきり内定をいただくことが出来ました。

生産システム工学専攻2年 中原 光一

私は、三年前本校を卒業し、一年間企業に勤め様々な現場で仕事をしていくうちに自分のやりたいことがみつかりました。しかしそのまま転職するより、自分の足りないところを補うことと、将来の方向性をじっくり考える時間が必要だと考え、専攻科でもう一度勉強し直すことを選びました。始めは不安なこともありましたが、一年間専攻科で勉強し特別研究を通して得た経験や知識は、自分にとって大きな自信になったと思います。私は今回二度目の就職活動でしたが、一度目と比べ万全な準備が整った状態で就職活動に挑むことができ、専攻科に入ってよかったと思います。

平成18年度生産システム工学専攻・内定企業一覧

旭化成(株)
KYB工業(旧社名 カヤバ工業(株))
トヨタテクニカルディベロップメント(株)
矢崎総業(株)